

2014 年度第 3 回関東学連総会議事録

日時:10 月 26 日 13:00

場所:東京工業大学大岡山キャンパス

記録:砂原和允

議長:大野貴紀(横浜国立)

出席: 東京 東工 千葉 横浜国立 一橋 実践 十文字 慶應 早稲田 横浜市立 農工 お茶の水
茨城 筑波

委任状: 相模女子 日本女子 津田塾

○目次

- (1)ミドルセレテレイン
- (2)ロングセレ会計
- (3)新人戦会計
- (4)ミドルセレ会計
- (5)ミドルセレのスタート方式
- (6)関東インカレ団体戦
- (7)次回総会について

(1)ミドルセレテレイン

ミドルセレで使用するのは不動の滝(南)

愛宕山範囲を使うかについては、実行委員長の石野さんと競技責任者兼プランナーの菅野(東北大 OB 一年目)が相談して、要項発表までには決める。

以上の範囲をリザーブテレインとして指定するのかどうかを決議する。

-リザーブテレインについての規約

第11 条 リザーブテレイン

- ①セレクションで使用するテレインはセレクションまでの期間関東学連加盟員の立ち入りを禁止することができる。リザーブテレインの指定は関東学連幹事会が行い、総会の承認を得なければならない。リザーブの開始時期は総会の承認以降とする。但し、総会の承認以前に使用申請のあった練習会、大会、合宿については、リザーブの期間内であっても関東学連加盟員の使用を認める。
- ②関東学連幹事会がリザーブテレインの提案を関東の加盟員各位に行う場合、関東学連幹事会

は提案されたテレインの告知・公表をもって関東学連加盟員のそれらテレインへの立ち入りを禁止することができる。なお、提案されたが総会の承認を得られなかったテレインのリザーブ解除は、総会の議決と時を同じくする。

決議の結果、ロングセレのテレインをリザーブテレインとしてするということが全会一致で承認となった。

(2)ロングセレ会計

会計より以下の決算案が提示された。

		単価	人数	小計				
収入	ME	2000	144	288000	支出	地図代	161812	
	WE	2000	54	108000		当日補助	13500	
	MA	1300	3	3900		当日交通費	2520	
	WA	1300	8	10400		試走	23450	
	MF	500	89	44500		前日会館	5000	
	WF	500	27	13500		パン	17000	
	MEC	2800	11	30800		ガソリン	16369	
	WEC	2800	4	11200		高速料金	3300	
	M	1800	3	5400		資材	43064	
	S	1800	1	1800		宿代	246734	
	F	500	3	1500		事前準備	15045	
	当日(MEC)	3300	2	6600		渉外交通費	2417	
	当日(WEC)	3300	3	9900		保険	18650	
	当日(M)	2300	2	4600		EMIT(郵送費含む)	61252	
	当日(F)	700	1	700		事後処理	2834	
	関東学連	100000	1	100000		OLK資材消耗補填	5000	
	レンタル	250	136	34000		JAF	12880	
	地図販売	300	6	1800		計	650827	
				計		676600		
						収支	25773	

以上の決算案に対し投票を行ったところ、全会一致で承認された。

残った金額は関東学連に返金された。

(3)新人戦会計

支出額が確定していないため、まだ決算案が確定できていない。次回総会にて採決をとる予定。約7万程度の赤字の予定。

(4)ミドルセレ会計

関東学連から毎年 10 万円を運営者に渡している。このお金で関東学連のセレクション参加者の負担金を減らす予定。

北東学連にはこのお金を回さないようにということでお金を渡す。

以上のことに対し採決をとったところ、**全会一致で承認**となった。

(5)ミドルセレ方式

ミドルセレクションの方法に関する関東学連の規約は以下の通り。

ミドル・ディスタンス競技部門 関東地区代表選手選考会実施基準

第8条 セレクション

- ①複数のコースの場合は、第7条2項によって定められた人数をコースで割り、枠を割り当てる。但し端数がでた場合は残りのもののうちコースに関わらずタイムの速いものを通過とする。各コースの学校毎の人数は可能な限り均等に割り振らなければならない。各コースの同スタート時刻の選手は運営者による公平な抽選により各レーンに割り振られる。コースの割り振りはレース前には非公開とし、レーンの割り振りのみが公開される。
- ②レーンの結果、決定すべき人数と同順位の者が複数人であった場合は当該順位の者全員を通過者とし、これによって増加した人数を第9条で規定する「推薦立候補」による枠から減ずる。
- ③前項の規定で増加した人数が第9条で規定する人数を超えた場合は、決定すべき人数と同順位の者のうちから関東学連総会にて選考を行う。この場合の手続きは第8条に規定する推薦に準じる。

この規約が存在するという念頭に入れて今まで話し合ってきたセレの方式である以下の4つについて投票を行った。

複数レーン制	均等に枠を配分	1 2
	学連を分割	1
単一レーン制	30 秒間隔	0
	人数を絞る	1

以上の投票結果により均等に枠を配分するというのが今回のセレでは最もよいということになった。

関東学連として2レーン制で行うということ承認していいかということについて投

票を行ったところ、全会一致で承認された。

よって今回は
関東学連としてセレ運営者側に「人数が多くなりセレ運営に支障をきたすということであれば2レーン制にしてもよい」という提案をすること
で決定した。

(参考)以下昨年度ミドルセレ実行委員長の三谷さんに聞いた意見

①セレの方式は現場の人にとっては何がよいと思うか？

(考えるのが難しいなら現在出ている案の実現可能性を問う)

何がよい、と言われると、現役生にとって一番良いものをというのが答えだと思います。しかし、現状のOBの人材では、今と同程度のセレを複数回行うのは難しいでしょう。もし実現させたいのであれば、OB1,2年目はオフィシャル含め全員強制参加、ぐらゐの条件が必要だと思います。

② いまのセレの問題点

一回セレを行うだけであれば、運営能力という意味での問題はあまりありません。

去年は、全体的にオフィシャルを除く関東のOBが少なかった+インカレ本番に人材を取られた、ことが重なって人数としては少なめでしたが、運営自体に大きな問題はなかったはずで

去年の一番の問題は、参加人数の多さでした。

具体的には、MEを1レーンで開催する場合、

- ・トップスタートをかなり早い時間にせざるを得ない。
- ・スタートの早い人と遅い人で公平性を保てない

の2点が問題となります。

去年は、初め10時スタートを予定していましたが、予想よりもエントリー数が多かったためトップスタートを10時前に前倒しをしたという流れでした。

③ いまのままでどの程度持続可能だと思われるか

運営能力としては、昨今の関東の人数を考えれば、継続可能だと思います。

問題は、MEの人数をどう捌くかです。

現状でもトップスタートの時刻を勘案して、テレインに制約が出てきます。そのため、ミドル本番のテレ

インとの類似性や競技性を捨てる必要があります。

これ以上増えるようであれば、ME1レーンを1日で運営するのは厳しいでしょう。

①について再度。

MEの2レーン制を検討すべきと思います。

結果に関する公平性の担保として思い付くのは、

- ・セレを2回行う
- ・1回だけで、推薦制度を拡充する
- ・1回だけ。推薦も現状維持。

ぐらいです。

個人的には、継続性を重視するなら

- ・セレを2回、関東学連主催と北東学連主催の2度行う。

という方法を推します。細かい方法は詰める必要がありますが、毎年継続できる可能性が最も高いでしょう。

(6)関東インカレ団体戦

毎年関東インカレ団体戦を山リハリレーにて行っているため今年もそれを行いたい。

以上のことについて決議を行ったところ全会一致で承認されたため、山リハリレーを関東インカレ団体戦とすることで決定した。

(7)次回総会について

第5回臨時総会を1月25日(日)筑波大大会の表彰後に行う。

議長：田中大貴(一橋)